

日医発 1132 号（法安 97） F

平成 23 年 3 月 16 日

都道府県医師会長殿

日本警察医会長殿

日本医師会長

原 中 勝 征

検案担当医の派遣について その 2（依頼）

平成 23 年 3 月 16 日付、「日医発 1129 号（法安 95） F」において検案担当医の派遣についてご依頼申し上げたところですが、情報が不十分な点について下記の通り補足いたします。

ついでにはご確認の上、別添の形式でとりまとめ、本会災害対策本部までお送りいただきますよう、ご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

被災地等における検案業務の現状

■ 状況：

3 月 16 日現在、被災地では法医学医師や、一部の県医師会、警察医会の会員医師が検案業務を行っているところです。被災地の状況が刻々と変わっているため、検案担当医のシフトを組むに至っておりません。

■ 募集対象者：

検案業務に習熟した医師に志願いただきたくお願いいたします。医師会または警察医会の会員かどうかは問いません。被災地にて歯科医、警察とチームを組んでいただく予定です。

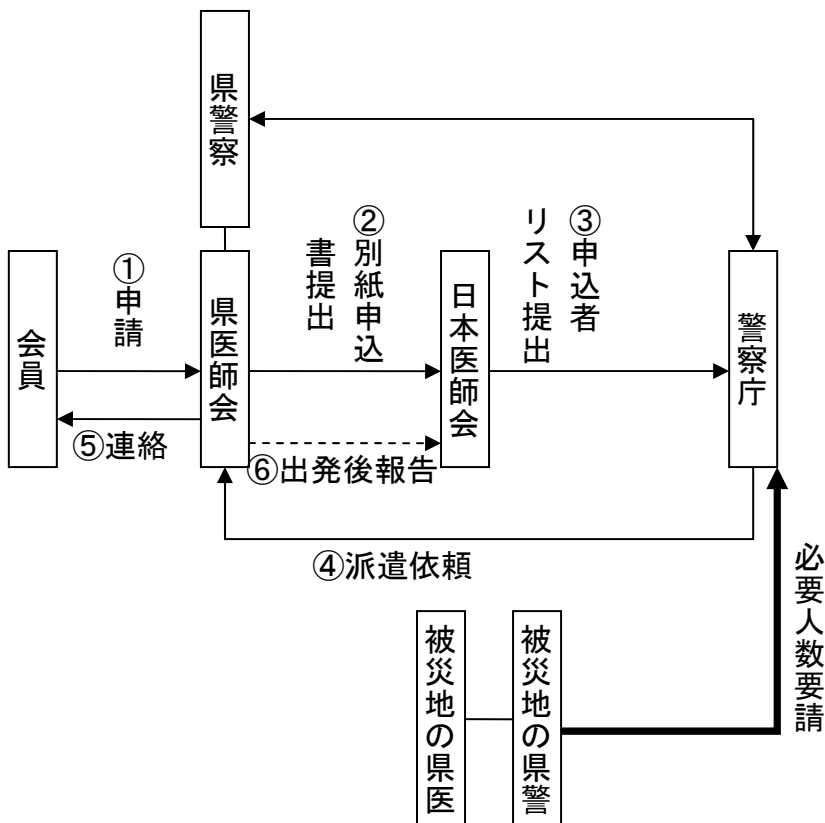
■ 検案期間：

全ての遺体を検案するのに長期間（半年程度）かかると想定されています。個別の滞在期間については、警察庁によると、警察車両での送迎の手配、宿泊・食事の受入体制等の関係で、できるだけ5日以上が望ましいとのこと。

■ 現地までの交通機関：

基本的に警察車両での移動となりますが、各自、車両を確保し被災地まで行くか、あるいは公共の交通機関等で被災地の近くまでいくことをお願いする可能性もあります。九州等遠方の方については、例えば東京までおいでいただき、東京から現地への移動は、警察庁の指示に従って警察車両で移動するなどが考えられます。その際、東京までの交通費が自費負担となることの無いよう、現在協議中です。なお、自ら車両で被災地に向かう場合は、事前にご自身住の県警察にて緊急通行車両確認標章の発給をお受け下さい。

■ 依頼の流れ



■連絡先

日本医師会 医事法・医療安全課

直通電話：03-3942-6506、03-3942-6484

mail：law-safe@po.med.or.jp

日本医師会災害対策本部

代表：03-3946-2121、衛星電話090-4814-8385、FAX 03-3946-6295

mail:syomuka@po.med.or.jp、深夜でも電話連絡可能

以上

都道府県医師会 (担当)

連絡先

「検案担当医」派遣申込書

○申込日 平成 年 月 日

○担当医名簿

	(ふりがな) 氏 名	活動可能日 (5月末日まで)	希望地 (あれば)	交通手段	緊急連絡先 (確実に連絡のとれるところ)
1					
2					
3					
4					
5					

※ 人数が多い場合はコピーにてご対応願います。

(記載例)

	(ふりがな) 氏 名	活動可能日 (5月末日まで)	希望地 (あれば)	交通手段	緊急連絡先 (確実に連絡のとれるところ)
	にちい たろう 日医 太郎	4月5日～4月15日、 5月1日～5月7日	○できれば宮城県 希望	○被災地まで自分で確保 可能 ○被災地近くまで自分で 確保可能 ○警察が連れて行ってく れるなら可能 等	090-****-****

※ 緊急車両証については別添をご覧ください。

※ 派遣についての詳細は、派遣に向けた準備が整い次第、都道府県医師会のご担当者へ警察庁から直接連絡します。